

みなさまと考え、みなさまと進める

南北線だより



鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の検討をみなさまとともに進めます。

『南北線』は、鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の通称です。

第1回 意見聴取が終了しました。

たくさんのご意見、ありがとうございました！

とつとり とおか みやづ
鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の道路
の改良計画の検討にあたり、第1回意見聴取として、
アンケート調査やオープンハウス、ワークショップなどを
実施し、「地域・道路交通の課題」、「地域が求める
道路の役割や機能」、「計画する上でのアイデアや配
慮事項」に関する多くのご意見をいただきました。

本号では、第1回意見聴取の実施状況や、みなさ
まからお聴きしたご意見の一部を紹介します。



検討の進め方

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）
の検討は、段階を区切り、道づくりの検討を
進めていくことを考えています。

検討の各段階で、みなさまとの情報共有や
ご意見をお聴きする場を設け、一緒に考え、
検討していきます。

現在は、『課題・ニーズの把握と道路計画
の必要性の確認』の段階で、アンケート調査
やオープンハウス、ワークショップなどのコミュニ
ケーションを通じて、みなさまから多くのご意見
をいただきました。



有識者委員会

提案・
助言

計画検討の流れ（案）

現在はこの段階です

課題・ニーズの把握と 道路計画の必要性の確認

地域・道路交通の課題と道路に求める機
能を把握し、道路計画の必要性を確認し
ます。

- HP・南北線だより
- 情報提供
- オープンハウス
- 意見把握
- アンケート調査
- ヒアリング調査
- ワークショップ

複数案の設定と評価項目の設定

複数のルート案を検討のたたき台とし
て提示します。
市民等のみなさまの懸念やニーズを把握
し計画検討に反映させます。

- HP・南北線だより
- 情報提供
- オープンハウス

複数案の比較評価

市民等のみなさまのご意見を反映した比
較評価（案）を提示します。
各案に対する期待や懸念をお聞きします。

- HP・南北線だより
- 情報提供
- オープンハウス
- 意見把握
- アンケート調査
- ヒアリング調査
- ワークショップ

みなさまのご意見を踏まえ、
「概略計画」をとりまとめます。

みなさまに
参画していただ
く
様々な機会を設けます。
ぜひご参加ください。



市民・道路利用者のみなさま

ご意見・
お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 計画課

電話：0857-22-8435（受付時間8:30～17:15） ※土日祝を除く

メール：info-tottori@cgr.mlit.go.jp

ポータルサイト：<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/road/tottorifukube/index.html>



◆ワークショップ

ワークショップは、アンケート調査等でお聴きしている内容のうち、「地域の道路や交通で困っていること」や、「交通課題を解消するための対策」などについて、より具体的なご意見を、直接お聴きすることを目的に開催しました。

2日間の開催で59人の方に、ご参加いただき、貴重なご意見をいただきました。

■開催概要

開催日時と参加者数

開催日①：平成30年9月8日（土）13:30～16:20（40名）
開催日②：平成30年9月29日（土）13:30～16:20（19名）

討議テーマ

- 地域の道路や交通で困っていることを考えよう！
- 交通課題を解消するにはどんな対策が必要か、考えてみよう！
- 道路整備を行う場合、どんなことが心配か、どんなことに気をつけるべきか考えよう！



▲任命式の様子



▲ ワークショップの様子



▲ 各班の意見紹介の様子



みなさまからいただいた、ご意見のごく一部を紹介します。

テーマ1：地域の道路や交通で困っていることを考えよう！

- ◆鳥取市内は各地からの車の集中で渋滞している。
- ◆国道29号の南隈交差点～鳥取IC入口交差点間が渋滞している。
- ◆千代川が氾濫した場合、鳥取市内の道路網が利用できなくなる。

テーマ2-1：交通課題を解消するにはどんな対策が必要か、考えてみよう！

- ◆空港・港湾・観光地などの主要拠点を連絡する新たな道路整備により、生活交通と通過交通を分離し、市内の渋滞緩和や安全性向上を図る。
- ◆公共交通の充実や時差出勤、市街地へのマイカー乗り入れを禁止するなど、自動車の混雑を緩和させる。
- ◆観光シーズンの渋滞に対して、観光施設や駐車場への誘導案内を適切に行う。

テーマ2-2：道路整備を行う場合、どんなことが心配か、どんなことに気をつけるべきか考えよう！

【心配の声・配慮の声】

- ◆事故や渋滞が発生しないように幅員の広い道路を整備する。
- ◆住宅への影響に配慮し、なるべく街中を通さないようにして欲しい。
- ◆事業を進めるときは住民との対話を大切にすべき。
- ◆工事期間の騒音や渋滞が、今より悪化しないよう配慮すること。
- ◆維持管理のしやすい道路にし、維持費等のリスクの分析が必要。



◆オープンハウス

オープンハウスでは、地域・道路交通の課題などについてのパネルを展示し、来場された方にご紹介しました。

鳥取市 駅南庁舎とイオンモール鳥取北の2会場（計6日間）で開催しました。

会場では、アンケート調査に回答していただいたり、多くの質問やご意見もいただきました。

■開催概要

開催日と来訪者数

鳥取市 駅南庁舎

平成30年 6月21日(木)～22日(金)
2日間計 約50人

イオンモール鳥取北

平成30年 7月6日(金)～9日(月)
4日間計 約580人

◆鳥取市 駅南庁舎での開催の様子



◆イオンモール鳥取北での開催の様子



みなさまからいただいた、ご意見のごく一部を紹介します。

- ◆鳥取～福部を通して速くすることだけ考えるのではなくて、いかにICで降りてもらうか、鳥取市内に立寄つてもらえるかを考えないといけない。
- ◆鳥取道、山陰道、福部はつなぐべきだが、人口が減っているので、コスト面の配慮も必要。
- ◆市内は特に南北方向の混雑をいつも感じている。空港までの道のりも渋滞が多く、課題である。

◆ヒアリング調査

◆ヒアリング調査の様子

ヒアリング調査では、自治体や関係団体、物流・観光事業者の方など、約50団体を対象に、直接お伺いし、ご意見をお聴きました。



みなさまからいただいた、ご意見のごく一部を紹介します。

【交通課題】

- ◆渋滞により、観光滞在時間が短くなり、他の観光地を周遊する機会が無くなることや、渋滞を嫌う観光客は鳥取市を素通りしてしまうことが課題であると認識している。

【利用しやすい道路となるためのアイデア】

- ◆新たに道路が整備される際、既存道路との接続部分が渋滞してしまうような箇所に計画しても意味がない。国道9号などの接続箇所にスムーズに交通が流れるような計画にしてほしい。

【懸念事項や配慮した方がよいこと】

- ◆防災の観点からは、緊急時の輸送路の確保は重要なものだと考えており、いかなる災害においても通行不能とならないような強靭な構造であることが重要。

◆アンケート調査

アンケート調査では、住民アンケート、事業所アンケート、道路利用者アンケートを実施し、合計で約10,100件の回答をいただきました。

■実施概要

住民アンケート 回収数：約7,800件

- ・鳥取市（旧鳥取市、旧福部村）在住の方（約70,600世帯）に郵送

事業所アンケート 回収数：約1,100件

- ・鳥取県内外の企業を対象に約4,200事業所に郵送

道路利用者アンケート 回収数：約1,200件

- ・道の駅、観光施設にアンケート用紙の設置及びインタビュー形式による聞き取り調査を実施

◆道路利用者へのインタビュー調査の様子



みなさまからいただいた、ご意見のごく一部を紹介します。

【交通課題】

- ◆南隈交差点の渋滞がひどく、国道9号～29号のアクセスの支障となっていると思う。
- ◆県外ナンバーの大型トラックなどの通過車両が、一般道を走行し、渋滞や危険の原因になっていると思う。
- ◆鳥取～福部間の自動車道整備が行われないと、ここにつながるバイパスや高速道の整備効果を十分に発揮することができない。特に、このたびのような大雨洪水災害への対応は不可欠。
- ◆道路は十分に整備されていると思う。鳥取から豊岡へ向かう交通量の少なさを考えれば、これ以上の整備を行うことに疑問。

【利用しやすい道路となるためのアイデア】

- ◆大雪で立ち往生するような構造ではなく、救援車両が速やかに移動できるよう、最初から片側2車線で整備すべき。
- ◆山陰道、鳥取自動車道、豊岡宮津自動車道が市内で有機的に接続されて流れのよい道路を造ってもらいたいと思う。
- ◆合流する道路や、分岐する道路に対して、わかり易い標識や案内を充実してほしい。高齢者や他県からの来訪者などには、分かりにくい道路であることが、事故や渋滞の要因になると感じている。

【懸念事項や配慮した方がよいこと】

- ◆道路整備にあたっては、地域住民の方々の要望や、生態系への影響も懸念されるため、それらを踏まえたうえで最善の策を見出していくだければよいと思う。
- ◆道路整備により便利になるが、旧道沿いの営業施設（観光農園、飲食店等）は一層経営が難しくなることが予測される。これらに対して、観光バスの立寄スポットにするとか、商品を買上げる仕組みをつくるとか、情報を積極的に発信するなど、公的、民的措置が必要だと思う。